

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場会社名 ヤマザワ

上場取引所 東

コード番号 9993 URL <http://www.yamazawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 板垣 宮雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 森 美博

TEL 023-631-2211

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	69,015	△0.9	1,971	3.1	1,984	2.8	973	28.6
21年3月期第3四半期	69,656	—	1,911	—	1,931	—	757	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	89.48	89.46
21年3月期第3四半期	69.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	42,214	25,637	60.7	2,355.64
21年3月期	39,788	24,961	62.7	2,293.79

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 25,633百万円 21年3月期 24,961百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	13.50	—	13.50	27.00
22年3月期	—	13.50	—		
22年3月期 (予想)				13.50	27.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,500	0.4	2,300	3.1	2,300	1.4	1,000	26.6	91.89

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 10,960,825株 21年3月期 10,960,825株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 79,031株 21年3月期 78,660株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 10,881,960株 21年3月期第3四半期 10,882,705株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、景気後退に一部底打ち感が見られるものの、依然として企業業績の低迷、雇用情勢の悪化、所得の減少が続くなど、非常に厳しい状況で推移いたしました。

小売業界におきましても、生活防衛意識の高まりによる個人消費の低迷や、消費者の低価格志向による企業間の価格競争の激化など厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては「地域のお客様に繰り返し来店していただける店づくり」に取り組むとともに、最終年度となりました中期経営計画に基づいた施策の実行・検証を繰り返し行なっております。

お客様の価格ニーズに対応するためスーパーマーケット事業部門においては、恒例となりました「生活応援セール」等各種セールを開催し、販促強化を行ってまいりました。更に新たな販促企画として、「ヤマザワ生活応援クーポン」セールを実施いたしました。また、当社が加盟するニチリウグループ（日本流通産業株式会社）のプライベートブランド商品である「くらしモア」や当社オリジナル商品の拡販を積極的に行なっております。

商品面におきましては、「地産地消」の更なる推進のため、青果部門では地場野菜コーナーの店舗拡大を行なうとともに、各地域ごとに地元生産者グループと協力し、安心・安全な地元農産物を安定的に仕入、販売できるよう取り組んでおります。

接客サービス面におきましては、笑顔で接客することを目的に「スマイルキャンペーン」を実施し、毎日、接客訓練を実施することで、接客向上に努めております。また、定期的に行なっておりましたストア社員との意見交換会を全7ブロックで毎月1回開催し、より現場の意見やお客様目線での意見を取り入れ、商品の品揃えや売場の改善などに努めております。

期間中の新規出店につきましては、平成21年7月に山形県東根市に神町店（ドラッグ併設）、同年12月に山形県山形市に富の中店（ドラッグ併設）を開店しております。なお、南館店（山形県山形市）は近隣地に富の中店を新規開店したことにより、平成21年11月に閉店いたしました。これにより、スーパーマーケットは山形県に44店舗・宮城県に17店舗の合計61店舗となりました。

また、スーパーマーケット事業部門では既存店活性化のために中山店（山形県中山町）、東大町店（山形県酒田市）の2店舗の改装を実施いたしました。その際、中山店内にドラッグ事業部門においてドラッグ中山店を新規開店いたしました。

連結子会社の株式会社ヤマザワ薬品におきましては、調剤の売上高が順調に推移したこと及び新型インフルエンザ関連商品の需要などもあり好調な結果となりました。

同じく株式会社サンコー食品におきましては、牛乳や弁当の販売強化を行なったものの、消費者の低価格志向による単価下落などにより厳しい結果となりました。

このような厳しい経営環境の下、これらの取り組みを行ないましたが、売上高につきましては、お客様の一人当たりの買上点数の増加はあったものの、商品単価の低下により低迷いたしました。一方、販売費及び一般管理費につきましては、レジ袋などの包装費や光熱費削減などの取り組みにより減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は690億15百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益は19億71百万円（同3.1%増）、経常利益は19億84百万円（同2.8%増）、四半期純利益は9億73百万円（同28.6%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は422億14百万円となり、前連結会計年度末と比較し24億26百万円の増加となりました。

資産の部においては、流動資産その他及び土地の減少等がありましたが、年末年始の繁忙期に伴う現金及び預金、商品及び製品の増加、また新店出店等に係る建物及び構築物、リース資産、建設仮勘定の増加等となりました。

負債の部においては、長期借入金、未払法人税等、賞与引当金の減少等がありましたが、商品仕入に伴う買掛金の増加、新店出店等に係る未払金、リース債務の増加及び短期借入金の増加等となりました。

なお、純資産は256億37百万円となり、自己資本比率は60.7%となっております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は56億85百万円（前年同四半期比12.1%減）となり、前連結会計年度末と比較して18億4百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは38億17百万円（同18.5%増）の収入となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が17億52百万円となり、たな卸資産の増加及び商品券、賞与引当金の減少等がありましたが、その他流動資産の減少、法人税等の支払額の減少及び仕入債務、未払消費税の増加等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは14億10百万円（同24.8%減）の支出となりました。これは主に土地等の売却による有形固定資産の売却による収入等がありましたが、前連結会計年度の設備支払手形の決済及び店舗出店等による有形固定資産の取得による支出等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは6億1百万円（前年同四半期は1億63百万円の収入）の支出となりました。これは主に短期借入金の増加等があったものの、長期借入金の返済、配当金の支払等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月13日公表の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる会社については、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,955,247	4,050,311
受取手形及び売掛金	577,653	505,060
商品及び製品	3,900,226	3,354,098
仕掛品	681	504
原材料及び貯蔵品	91,358	67,111
その他	1,087,313	1,736,203
貸倒引当金	△5,113	△5,658
流動資産合計	11,607,367	9,707,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,844,035	11,726,405
土地	13,536,532	13,641,111
その他（純額）	1,386,696	950,910
有形固定資産合計	26,767,264	26,318,427
無形固定資産	942,657	907,618
投資その他の資産	2,897,702	2,854,414
固定資産合計	30,607,624	30,080,460
資産合計	42,214,992	39,788,091
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,877,568	5,827,445
短期借入金	1,870,000	1,550,000
1年内返済予定の長期借入金	—	500,000
未払法人税等	199,712	422,745
賞与引当金	106,648	429,200
役員賞与引当金	20,265	29,000
ポイント引当金	424,979	365,270
商品券回収損失引当金	48,015	60,344
その他	3,942,144	3,746,160
流動負債合計	14,489,334	12,930,166
固定負債		
退職給付引当金	442,522	423,625
役員退職慰労引当金	—	430,735
その他	1,645,429	1,042,183
固定負債合計	2,087,951	1,896,544
負債合計	16,577,286	14,826,711

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,388,717	2,388,717
資本剰余金	2,205,087	2,205,087
利益剰余金	21,167,026	20,487,148
自己株式	△89,994	△89,526
株主資本合計	25,670,836	24,991,427
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△37,280	△30,047
評価・換算差額等合計	△37,280	△30,047
新株予約権	4,149	—
純資産合計	25,637,705	24,961,380
負債純資産合計	42,214,992	39,788,091

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	69,656,991	69,015,082
売上原価	50,096,504	49,526,099
売上総利益	19,560,486	19,488,982
販売費及び一般管理費		
給料	6,252,573	6,387,832
賞与引当金繰入額	112,157	101,839
役員賞与引当金繰入額	30,550	17,865
退職給付費用	77,309	77,004
役員退職慰労引当金繰入額	15,137	4,520
ポイント引当金繰入額	408,460	424,979
減価償却費	849,009	1,038,866
貸倒引当金繰入額	257	—
その他	9,903,118	9,464,841
販売費及び一般管理費合計	17,648,573	17,517,748
営業利益	1,911,912	1,971,234
営業外収益		
受取利息	9,782	5,052
受取配当金	7,848	7,375
その他	40,584	30,355
営業外収益合計	58,214	42,782
営業外費用		
支払利息	24,799	17,197
その他	13,743	11,986
営業外費用合計	38,542	29,184
経常利益	1,931,584	1,984,833
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	545
固定資産売却益	32	29
特別利益合計	32	575
特別損失		
固定資産除却損	34,958	45,335
固定資産売却損	6	26,255
投資有価証券評価損	33,609	—
減損損失	19,935	160,941
特別損失合計	88,509	232,532
税金等調整前四半期純利益	1,843,107	1,752,875
法人税、住民税及び事業税	859,109	717,019
法人税等調整額	226,577	62,164
法人税等合計	1,085,686	779,183
四半期純利益	757,420	973,692

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	23,530,466	23,199,350
売上原価	16,811,853	16,564,099
売上総利益	6,718,612	6,635,251
販売費及び一般管理費		
給料	2,087,236	2,111,416
賞与引当金繰入額	112,157	101,839
役員賞与引当金繰入額	9,850	5,735
退職給付費用	22,385	26,174
役員退職慰労引当金繰入額	6,000	—
ポイント引当金繰入額	408,460	424,979
減価償却費	309,988	364,392
貸倒引当金繰入額	571	—
その他	3,034,151	2,837,607
販売費及び一般管理費合計	5,990,801	5,872,145
営業利益	727,811	763,106
営業外収益		
受取利息	1,980	1,686
受取配当金	1,903	2,070
その他	13,133	6,060
営業外収益合計	17,017	9,817
営業外費用		
支払利息	8,341	5,015
その他	1,568	2,836
営業外費用合計	9,910	7,852
経常利益	734,919	765,071
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	545
固定資産売却益	32	—
特別利益合計	32	545
特別損失		
固定資産除却損	31,015	40,779
固定資産売却損	6	26,255
投資有価証券評価損	33,609	—
特別損失合計	64,630	67,034
税金等調整前四半期純利益	670,320	698,582
法人税、住民税及び事業税	227,872	237,677
法人税等調整額	96,898	86,358
法人税等合計	324,770	324,036
四半期純利益	345,549	374,546

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,843,107	1,752,875
減価償却費	926,883	1,117,157
減損損失	19,935	160,941
賞与引当金の増減額(△は減少)	△325,539	△322,551
受取利息及び受取配当金	△17,630	△12,427
支払利息	24,799	17,197
たな卸資産の増減額(△は増加)	△432,072	△570,551
仕入債務の増減額(△は減少)	2,199,432	2,050,123
その他	414,619	574,855
小計	4,653,536	4,767,621
利息及び配当金の受取額	12,986	8,558
利息の支払額	△26,046	△19,038
法人税等の支払額	△1,418,011	△940,051
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,222,465	3,817,089
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△1,985,472	△1,756,878
敷金及び保証金の差入による支出	△34,009	△29,584
敷金及び保証金の回収による収入	274,379	27,177
その他	△130,216	448,801
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,875,318	△1,410,484
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,000,000	320,000
長期借入金の返済による支出	△528,000	△500,000
配当金の支払額	△293,834	△293,814
その他	△14,398	△127,854
財務活動によるキャッシュ・フロー	163,767	△601,669
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,510,914	1,804,936
現金及び現金同等物の期首残高	4,953,675	3,880,247
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,464,589	5,685,183

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。